

## 県内初プログラミング教育を導入 田頭小児童パソコン使い体験授業

プログラミング体験授業【総合的な学習の時間(情報教育)】が7月11日、田頭小学校で行われました。授業では、文部科学省が開発したプログラミング作成サイトを使用。5年生の児童13人が、授業を担当した工藤恭介教諭(56)指導の下、パソコン上で操作をしながらプログラミングの仕組みを学習しました。遠藤登希君は「家でも予習していた。すごく楽しいし、またやりたいと思う。次はもっとすごいものを作りたい」と、意欲を示しました。



プログラミング操作に興味津々 楽しく授業に取り組む田頭小児童たち

## 市芸術文化協会が軌跡振り返る 「10年のあゆみ」を刊行しました

市芸術文化協会の伊藤忠男会長らが7月22日、市役所を訪れ田村正彦市長、遠藤健悦教育長に「市芸術文化協会10年のあゆみ」刊行の報告を行いました。同協会は平成18年5月12日に、本市の合併とともに、旧西根・松尾・安代町村の芸術文

化協会解散後、設立。あゆみには、今日までの主な活動や会員紹介などが綴られています。伊藤会長は「協会加入者は年々減少傾向にあるが、設立10周年を機により一層、市の文化度を上げるため努めていきたい」と思いを語りました。



「10年のあゆみ」刊行を田村市長、遠藤教育長に報告する市芸術文化協会役員の方々。左から伊藤政子副会長、田村市長、伊藤忠男会長、遠藤教育長、平野康彦副会長

## 大更小相撲クラブが東北大会に出場決定 県下学童相撲大会3年ぶりの優勝果たす

第27回知事杯争奪岩手県下学童相撲大会兼第35回東北学童相撲岩手県大会が7月9日、県営武道館で開催され、大更小チーム(5・6年生/佐々木蒼馬君、工藤煌斗君、畠山北斗君、石引彩菜さん、宮野唯斗君)が団体戦で3年ぶりの優勝に輝きました。

同チームは、8月21日に福島県で開催される東北学童相撲大会に出場します。

- ◆大更小相撲クラブ 諸大会での成績
- ◎第29回わんぱく相撲盛岡場所(6月19日)▶個人戦3年生の部3位 工藤琉誠君▶女子5・6年生の部優勝 石引彩菜さん
- ◎第7回東北女子相撲選手権大会岩手県選考会(7月9日)▶4年生の部第3位 石引彩菜さん▶6年生の部優勝 石引彩菜さん



全校集会で好成績を報告した大更小相撲クラブのメンバー。左から工藤琉誠君、石引彩菜さん、石引彩菜さん、宮野唯斗君、佐々木蒼馬君、工藤煌斗君、畠山北斗君

## 八幡平市から2年連続優勝者 鈴木真司さん県牛削蹄競技大会優勝に輝く

第9回県牛削蹄競技大会(県立削蹄師会主催)が7月21日、県立農業大学校(金ヶ崎町)で開催され、本市から出場した鈴木真司さん(25)＝洪川開拓Ⅱが見事優勝を果たしました。本市から優勝者が出たのは、昨年大会に続き2度目。

削蹄とは、牛の伸び過ぎたひづめを切削し、形を整えること。牛の安定した歩行を支え、蹄病の防止など



まさし 鈴木真司さん  
平成3年生まれ。県立農業大学校卒業後、全国農業協同組合連合会勤務を経て、繁殖牛を扱う家業を継ぐ。畜産業を営みながら、牛削蹄師の資格を取得し、その職に従事。現在は、主に市内で月100頭、放牧前の繁忙期は月400頭近くの牛を相手に削蹄師として腕を奮う。

◎削蹄師を目指したきっかけ  
家が牛を扱う農家であること、父が牛削蹄師であることに影響を受け、高校時代には、将来この職に就きたいと考えていました。

◎削蹄師として心掛けていること  
刃物を使うため、牛にも人にも危険が伴う仕事。ゆえに、牛の状態を見ながら牛に合わせて毎回慎重に丁寧に削蹄できるように心掛けています。



◎今回優勝した感想  
今回で3度目の出場でしたが、正直自信はありませんでした。なので、優勝出来たことは驚き。でも、仕事を通して自然と技術が身に付いてきたのかと思うと素直に嬉しく誇りに思います。

◎今後の目標は？  
大会で良い成績を残すと農家さんたちの信頼感にもつながります。日々の仕事を通して腕を磨くとともに、大会は努めて参加し、結果を客観的なひとつの指標として、自身の技術力向上を図りたいです。

## 第24回参議院議員通常選挙 市の投票率は53.35% 20歳未満は48.44%という結果に

任期満了に伴う、第24回参議院議員通常選挙の投票が7月10日、市内15の投票所で行われました。当日の市の有権者数は2万3660人(男1万1,288人、女1万2,372人)で、投票率は53.35%。前回(平成25年7月21日執行=55.65%)に比べ、2.30%下回る結果となりました。また、18歳と19歳が初

めて投票することで注目を集めた今回の選挙。20歳未満当日有権者数は448人(男217人、女231人)で、投票率は48.44%でした。当日投票した佐藤亜沙妃さん(18)＝柏台＝は「まだ判断力が身に付いていないから投票するには時期尚早なのかなと思った」と選挙に関する感想を述べました。



人生で初めての投票に緊張の面持ちの佐藤亜沙妃さん